

★ちば県議会だより

会派別議員数		
会派名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	53人
立憲民主党千葉県議会議員会	立憲民	10人
千葉民主の会	千葉民	9人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千翔会	千翔会	3人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	2人
平和の党	平和党	1人
社民党	社民党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
無所属議員	無所属	4人

定数94人 現員94人 (令和2年10月13日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043(223)2523 FAX 043(222)4073 千葉県議会 検索



9月定例会県議会のあらまし

9月定例会県議会は、9月16日に招集され、10月13日までの28日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和2年度一般会計補正予算等の議案20件、報告4件および決算認定についてが上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

9月24日から6日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、24名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、新型コロナウイルス感染症対応、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

各常任委員会は、10月5日から4日間にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案については原案のとおり可決されました。

続いて、議員発議案13件のうち意見書2件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

代表質問

9月24日(木)



自民党
関 政幸 議員
(千葉市緑区)

- ▼ 財政問題
- ▼ 新型コロナウイルス感染症への対応
- ▼ 災害への対応と将来への備え
- ▼ 児童相談所の業務執行体制強化
- ▼ 農林水産業の振興
- ▼ 県立病院の経営改善と機能強化



立憲民
守屋 貴子 議員
(市川市)

- ▼ 新型コロナウイルス感染症
- ▼ 昨秋の台風・豪雨被害
- ▼ 移住・定住促進事業
- ▼ 路線バスの諸課題
- ▼ 児童虐待防止
- ▼ 犯罪被害者支援

9月25日(金)



千葉民
入江 晶子 議員
(佐倉市・印旛郡酒々井町)

- ▼ 新型コロナウイルス感染症対策の検証と今後の取り組み
- ▼ 自治体病院の運営状況と地域医療体制の整備
- ▼ 重度の強度行動障がい
- ▼ コロナ禍における経済・雇用対策と移住政策
- ▼ 種子条例と在来種の継承
- ▼ ウナギをシンボルとする湖沼・河川環境の再生



公明党
田村 耕作 議員
(千葉市花見川区)

- ▼ 新型コロナウイルス対策
- ▼ 財政
- ▼ 行政のデジタル化
- ▼ まちづくり
- ▼ 福祉・医療
- ▼ 水道事業

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。
千葉県議会 質問項目 9月 検索

「決算審査特別委員会」の設置



令和2年9月定例会県議会において、千葉県の令和元年度一般会計および特別会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会が設置されました。

■ 審査日程(開会時間 各日午前10時)
10月19日(月)・23日(金)・30日(金)・11月 2日(月)・16日(月)・17日(火)

委員名簿

会派名	委員名						
自民党	◎ 今中 高	井村 橋	勝実 子	○ 實川 隆	川 岳	関 小野	政 正
	高 佐	藤 健	二 郎	森 木	名 瀨	崎 鈴	喜 ひろ
立憲民	高 橋	内 圭	浩 司	菊 岡	た 子	陽 介	
千葉民	竹 内	部 俊	昭 美	鈴 木	山 秀	明	
公明党	阿 岩	波 初		横 山			
千翔会							

◎委員長 ○副委員長

令和2年10月1日現在

可決された議案

- ◆ 令和2年度補正予算関係(7件)
 - ▼ 一般会計
 - ▼ 特別会計(6件)
- ◆ 条例の制定
 - ▼ 千葉県主要農作物種子条例
 - ▼ 千葉県県税条例
 - ▼ 法人の県民税の特例に関する条例
- ◆ その他(3件)
 - ▼ 使用料及び手数料条例
 - ▼ 特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例等
 - ▼ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例及び住民基本台帳法に基づく本人確認情報

可決された意見書

- ▼ ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書
- ▼ 防災・減災・国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書

の利用及び提供に関する条例
県が行う職業訓練の基準等を定める条例
建築基準法施行条例
教育機関設置条例
千葉県水道事業、工業用水道事業及び造成土地管理事業の設置等に関する条例

- ▼ 契約の変更
- ▼ 財産の取得
- ▼ 訴えの提起

代表質問から

財政

問 令和2年度9月補正予算は、どのような点に力を入れて編成したのか。

答 今回の補正予算では、引き続き感染症対策に万全を期するとともに、深刻な影響を受けた地域経済の活性化も図っていくため、

- ・感染症の長期化に備えた医療提供体制の整備
- ・県民のみならずとも推進する「ちばと一緒に！」キャンペーン
- ・厳しい経営状況にある中小企業等へのさらなる支援
- ・などの経費を計上した。

また、令和元年度の決算剰余金や既存事業の見直し等の取り組みにより生じた財源を活用し、財政調整基金と災害復興・地域再生基金に合わせ、14.9億円の残高を確保し、今後の台風災害など不測の事態に備えることとしている。

収支見通しについては、現時点では均衡しているが、今後、新型コロナウイルスの影響により税収が下振れする懸念もあることから、引き続き、執行段階での節減や既存事業の見直しなどの取り組みを徹底し、より一層の財源確保に努める。

新型コロナウイルス感染症

問 感染症が収束していない中、引き続き厳しい状況にある中小企業に対する支援の状況はどうか。

答 県では、新型コロナウイルスにより大きな影響を受けている中小企業

の資金繰りを一層支援するため、実質無利子・無担保の県制度融資について、7月6日以降、無利子となる融資枠を3千万円から4千万円に拡大したところであり、融資利用は、8月末で約2万2千件、約4千億円となっている。

また、売上高が前年同月比で50%以上減少している場合に支給する中小企業再建支援金については、約8万8千件の申請があり、これまでに、約6万7千件、約16.5億円を支給した。

この支援金については、新型コロナウイルスによる影響が長期化していることを踏まえ、このたび、売り上げ減少の比較期間を本年12月まで延長するとともに、6月以降、連続する3カ月間の売上高が、前年比で30%以上減少した事業者を、新たに支給対象に加えることとした。

今後とも、地域経済の担い手である中小企業を、しっかりと支援していく。9月補正予算案の公共交通事業者向けの臨時支援金について、具体的にどのような支援内容となっているのか。

また、それ以外の財政的支援についても考えているのか。

答 公共交通事業者向けの臨時支援金については、地域公共交通として大きな役割を果たす地域鉄道や、乗り合いバス、タクシーを対象に、感染予防対策への取り組みを支援することを目的としている。

具体的には、車両の消毒作業等への対応として、鉄道やバスは、車両1台当たり10万円の給付を、タクシーは、保有台数の規模に応じて、1万円から60万円を定額給付するものであり、いずれも国の補助対象外の経費を、支援することとしている。

また、特に影響が長期化している乗り合いバスについては、国と県が支援する広域幹線において、補助対象基準の要件緩和による支援の見直しを進めていく。



問 県立高等学校において、感染拡大によつては休校等も想定される中、本年度予定されている学習内容を全て終わらせるために、今後、どのように学習指導を行っていくのか。

答 本年6月に県立高等学校を再開するに当たって、休校中の学習の定着状況を確認した上で指導計画を見直し、行事の精選などにより授業時数を確保しつつ、今年度学習する内容を全て終わらせることができるようになっている。

今後、感染者の発生により臨時休校となった場合には、今年度導入した学習支援ソフトを有効に活用することで、家庭においても学校の授業と同様の学習ができるようになり、着実に履修を進めていく。

また、仮に、臨時休校が長期に及ぶ場合は、学校再開後に、あらかじめ指導計画を見直し、必要に応じて、冬休みや春休みの短縮、放課後の補習等の工夫を行い、生徒に無理のないよう配慮しながら、今年度の学習内容を全て終わらせるようにしていく。

防災体制の強化

問 房総半島台風による災害から1年が経過したが、復旧・復興に向けた今後の取り組みはどうか。

答 県では、昨年の台風・大雨災害から1年を迎えるのを契機に、あらためて復旧・復興の状況を確認した。その結果、被災住宅の復旧については、いまだ応急的な措置が継続している住宅があることから、市町村と連携し、業者紹介窓口の利用促進などにより、一層工事が進むよう取り組んでいく。

また、被災した農林漁業者や中小企業への支援については、多くの支援策で要望等の受け付けは完了し、各地で復旧が進んでいる。引き続き、事業の促進を図るとともに支給事務を進めていく。

さらに、防災体制の強化については、土砂災害警戒区域の指定を進めた他、検証報告を踏まえて初動対応を見直すなど、災害対応力の強化を図った。引き続き、県民の皆さんに安心して暮らしてもらえよう、防災力の強化に取り組んでいく。

児童相談所

問 児童相談所の増設等、児童相談所の体制強化にどのように取り組んでいるのか。

答 まず、印旛郡市と松戸市・鎌ヶ谷市とをそれぞれ管轄する児童相談所の新設については、現在、それぞれ地元市町と調整を進めており、未利用公有地の活用を基本として、交通機関等の利便性や周辺環境等の諸条件等を勘案の上、早期に候補地が決定できるよう取り組んでいる。

次に、執務室の環境改善については、市川および柏児童相談所において、職員の急速な増員により、狭小化が顕著となっている。

このため、市川児童相談所では船橋市にある県消費者センターの一部を活用し、柏児童相談所では柏市内の民間施設を借り上げることにより、来年度中に業務が開始できるよう準備を進めている。

水産業

問 県は、本県水産業の成長産業化に向け、どのように取り組んでいくのか。

答 県では、収益性の高い漁業生産体制への転換を図るため、漁協や市町村など地域と一体となって策定した「浜の活力再生プラン」に基づき、漁業者等が進める省力化漁船の建造や作業性に優れた定置網の導入、ノリの共同加工施設の整備などを支援している。

また、高品質な水産物の安定供給を図るため、銚子や勝浦などの流通拠点漁港において、市場や製氷施設、加工施設などの一体的な整備を進める他、小規模な漁港においては、市場の統合や施設の近代化に向けた取り組みを支援している。

がんセンター

問 がんセンター新棟のオープンにより、どのような機能が強化されるのか。

答 新しいがんセンターでは、高齢化に伴うがん患者の増加に対応できるように、許可病床数を341床から450床に増床し、併せて、手術室の増設や通院しながら治療が受けられる薬物療法センターの受け入れ体制

の拡充などを行った。また、身体への負担の少ない手術支援ロボットの増設や温熱療法を行うハイパーサーミアの導入の他、放射線治療機器を更新するなど、診療機能の強化を図った。

さらに、患者や家族の相談にワンストップで対応する患者総合支援センターを新たに設置し、患者等の利便性の向上を図るとともに、明るくゆとりのある病棟など、より快適性に配慮した療養環境の整備を図った。

今後とも、県民の命を守るため、新棟オープンにより強化された診療機能を十分発揮し、県がん医療の中核的な施設として、高度で先進的な医療を提供していく。



導入されたハイパーサーミア

水辺環境

問 印旛沼における水生植物を見ると、近年ナガエツルノゲイトウ等の外来種が繁茂し、在来種が顕著に減少している。外来種への対策をさらに進める必要があるかどうか。

答 印旛沼流域では、ナガエツルノゲイトウの分布範囲が年々拡大しており、治水や水辺環境への影響が懸念されている。

このため、県では、治水対策の一環として、洪水時に大和田排水機場の運転に支障を来すことがないよう、機場に近い桑納川や神崎川において、関係機関やボランティア学生団体との協働により駆除を行っている。



繁茂するナガエツルノゲイトウ

県営水道

問 県営水道における水道管の耐震化にどのように取り組んでいるのか。

答 県営水道では、強靱な材質で、地震の際も水道管の連結部が外れない耐震管を全面的に採用しており、特に東日本大震災で液状化被害が多発した湾岸埋立地域の耐震化を優先的に進めている。

令和元年度末の管路延長は917.9キロメートルであり、管路全体の耐震化率は23.6%となっている。このうち、湾岸埋立地域の管路延長は約69.6キロメートルであり、耐震化率は、47.7%となっている。

今後とも液状化が懸念される地域を優先的に進めるとともに、災害時に拠点となる重要施設に給水する管路や、老朽化が進んでいる管路の耐震化を計画的に推進していく。



各常任委員会の 主な質疑から

総務防災常任委員会

問 法人県民税の超過課税の延長について、県は対象企業にどのように説明や周知を行うのか。

答 適用期限を延長する際には、従来から県内の経済団体へ事前説明を行っており、今回も7団体を訪問し、趣旨や内容等の説明を行った。

また、各企業に対しては、申告書を送付する際に、超過課税の趣旨や内容を説明するリーフレットを同封し、理解してもらえよう努めていく。

総合企画企業常任委員会

問 水道施設の非常用発電設備の整備を、県はどのように促進していくのか。

答 引き続き、各水道事業体に対し、積極的な整備を要請するとともに、国に対し国庫補助制度の継続と拡充を要望していく。

また、病院や避難所等に給水する水道施設に、確実に整備が進むよう、県の支援策も検討していく。

健康福祉常任委員会

問 新型コロナウイルス感染症のクラスター等対策チームは、派遣された施設等において、どのような活動をしているのか。

答 派遣される医師は、陽性となった患者の優先搬送順位の検討

や入院までの経過観察等を行う。また、看護師は、施設内のゾーニングや、職員への個人防護具の着脱訓練など、感染拡大防止に関する指導等を行う。

環境生活警察常任委員会

問 「ちばと二緒にー」コンサート開催事業を実施する目的は何か。

また、新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くと思われるが、開催に当たってはどのように取り組むのか。

答 吹奏楽コンクール等の中止により、発表の場を失った県内高等学校の吹奏楽部の生徒を応援するため、また、地域を元気にするため、県内高等学校の吹奏楽部の演奏会や子どもたちによるコンサートを開催する。

開催に当たっては、感染防止対策の徹底を図るとともに、当日来場できない人のため、動画配信を行うことも検討しており、今後、学校や市町村等と連携しながら取り組んでいく。

商工労働常任委員会

問 千葉県就職氷河期世代支援加速化事業の支援対象者は、何人程度いるのか。

また、事業にどう取り組むのか。

答 本県には、5万6千人を超える支援対象者が見込まれている。県では、就職力強化のための研修や、企業との交流会、個々のニーズに応じた就職先企業の紹介、採用後の定着支援など、安定就労に向けたきめ細かい支援に取り組む。

農林水産常任委員会

問 CSF対策について、本県

を含め多くの都府県でワクチン接種などにより、発生防止に取り組んでいる中、群馬県でCSFが発生したが、これを受け、県としてどのように対応しているのか。

答 群馬県での発生翌日に全養豚農家に対し、注意喚起および飼養衛生管理基準の遵守徹底をあらためて周知した。

県土整備常任委員会

問 今回の補正予算案で計上している危機管理型水位計の設置箇所のお考え方はどうか。

答 水位周知河川およびその支川において、過去の浸水被害や重要水防箇所など29カ所の設置に必要な予算を計上している。

また、それ以外の河川についても、過去の浸水被害や市町村の意向などを踏まえ、水位の把握が必要な箇所への設置を検討していく。

文教常任委員会

問 千葉県立博物館の今後の在り方が示されたが、中央博物館における自然科学分野を、今後どのようにしていくのか。

答 これまでの自然科学分野の研究実績を生かしつつ、人文科学分野の専門職員や博物館資料を集約し、それぞれの専門領域を超えた広域的なテーマに関する共同研究を模索するなど、自然科学分野と人文科学分野の融合を図り、総合博物館としての価値を高めていく。



常任委員会活動報告

常任委員会では、それぞれの所管する事項の審査の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

千葉県 常任委員会 検索

総合企画企業常任委員会 調査日：令和2年10月8日(木)

調査先：千葉県企業局 柏井浄水場(千葉市花見川区)

浄水施設の カバー化について

テロ行為による異物混入の防止や、火山噴火による降灰等のリスクに備えるため、県営水道が進めてきた浄水施設のカバー化について、柏井浄水場の設置状況を調査しました。



県営水道における浄水施設のカバー化について説明を受ける委員

文教常任委員会 調査日：令和2年10月6日(火)

調査先：千葉県立検見川高等学校(千葉市美浜区)

ICTを活用した 新しい授業のカタチ

タブレット使用授業・スマートフォン使用授業・プロジェクター使用授業を視察し、高等学校普通教室用ICT環境検証事業実施校の状況について調査しました。



タブレット使用授業を見学し、説明を受ける委員

千葉県議会ホームページ

県議会のさまざまな情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

主な掲載内容

- 県議会議員の紹介
- 傍聴のご案内
- 会議録検索
- 会議の概要
- 議会図書室の利用案内

〈ホームページアドレス〉

<https://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

千葉県議会ホームページで動画配信中

- インターネット中継(ライブ・録画) 本会議および予算委員会(過去3年分視聴可)

スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。



千葉県議会中継 検索

環境生活警察常任委員会 調査日：令和2年10月8日(木)

調査先：千葉県南総文化ホール(館山市)

県立文化会館の 新型コロナウイルス 感染症対応

「新型コロナウイルス感染症による影響と対策について」および「令和元年度台風への対応等について」を調査しました。



千葉県南総文化ホール(小ホール)において説明を受ける委員

地域トピックス～圏央道ゾーン編～

ジャンボタニシの 防除対策

～一般質問より～

問 地域ぐるみで取り組む総合防除対策推進事業について、どのように取り組んでいるのか。

答 県では、ジャンボタニシの被害軽減を図るため、侵入防止、食害防止、越冬防止および水路の貝の生息密度低減など、地域の協議会が実施する対策を支援しているところであり、現在、12市町村17地区で取り組みが進められている。

これまでに、水田の取水口へのネット設置による侵入防止効果の他、田植えの時期の農薬散布や水位を浅くした栽培管理などによる食害軽減効果が確認された。



ジャンボタニシの食害による欠株の様子。長い触覚が特徴のジャンボタニシ(左下)

引き続き、越冬防止や貝の生息密度の低減を図るため、水田の耕運や水路の泥上げなどを行い、ジャンボタニシの防除対策を地域ぐるみで総合的に進めていく。

ちば県議会だより



一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 9月 検索

9月28日(月)



自民党 鈴木 衛 議員 (市川市)

北千葉道路(仮称)押切橋
江戸川左岸流域下水道事業及び市川市単独公共下水道管野処理区歩車分離式信号



公明党 赤間 正明 議員 (市川市)

千葉県の「長期停電対策」
ワクチン再接種
健康ポイント事業
学校現場の「ゲーム障害」対策



自民党 三沢 智 議員 (館山市)

地域振興
海岸漂着物対策
館山港多目的棧橋の機能強化
信号機の停電対策



千葉民 平田 悦子 議員 (君津市)

学校現場における教職員人員
海の安全対策
コロナ禍における観光施策
国・県指定無形民俗文化財の伝承



自民党 田中 幸太郎 議員 (市川市)

運転免許センター
質の高い教育を受けられる環境の整備
県産農林水産物の販売促進
スーパーヨット地域振興策

9月29日(火)



自民党 白井 正一 議員 (千葉市美浜区)

県庁舎の固定電話回線の契約
地方創生の推進
幕張メッセ
千葉みなと港湾緑地



自民党 小池 正昭 議員 (成田市)

成田空港
農業問題
教育問題
福祉問題



自民党 今井 勝 議員 (我孫子市)

千葉県地方創生総合戦略
手賀沼沿岸堤防の整備
農地・農業用施設の災害対応
教育問題



立憲民 河野 俊紀 議員 (千葉市美浜区)

申請・届け出等手続のオンライン化
PCR検査またワクチン等
地球温暖化対策
離岸流による水難事故防止



共産党 加藤 英雄 議員 (柏市)

知事の政治姿勢
新型コロナウイルス感染症対策
県立高校における校則などによる指導
自主防災会、避難所への支援

9月30日(水)



自民党 石井 一美 議員 (鎌ヶ谷市)

北千葉道路
新型コロナウイルス感染症の検査体制
児童虐待防止
スクールロイヤー活用事業



千葉民 磯部 裕和 議員 (野田市)

MaaS
子宮頸がんワクチン
保健医療大学
児童虐待



自民党 岩井 泰憲 議員 (印西市・印旛郡栄町)

長門川の護岸整備
大雨・台風災害への備え等
路線バスの維持
国道464号の景観向上



千翔会 谷田川 充丈 議員 (香取市・香取郡神崎町・香取郡多古町)

防災対策
農業振興
県立病院
東京オリンピック・パラリンピック



無所属 田沼 隆志 議員 (四街道市)

DX・デジタルガバメント・脱ハンコの推進
テレワークの推進
高速道路IC周辺の開発
子供をふやす政策

10月1日(木)



自民党 鶴岡 宏祥 議員 (茂原市)

新型コロナウイルス感染症対策
道路問題
河川問題
ジャンボタニシの防除対策



自民党 高橋 秀典 議員 (旭市)

教育問題
農林水産業の振興
中小企業への支援
河川の浸水想定



自民党 林 幹人 議員 (成田市)

県庁職員の在宅勤務
パーキングパーミット
成田空港
業務の合理化



平和党 西尾 憲一 議員 (船橋市)

県内林業及び森林の維持管理
就職氷河期世代の県職員の採用
コロナ禍を受けての職員給与削減
離別母子世帯の支援



自民党 阿部 紘一 議員 (千葉市稲毛区)

新型コロナウイルス感染症の検証と対策
学力向上施策
水道広域化推進プラン



令和2年12月定例県議会 会期および議事・委員会予定(素案)

Table with columns: 月日, 議事・委員会予定, 開議時間. It lists dates from 11月27日 to 12月22日 with details on meetings and committee sessions.

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会で協議されます。※傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV...チバテレで生放送されます。PC...パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。

9月定例県議会 知事あいさつ

このたび提案致しました案件は、令和2年度の補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の20議案の他、報告4件並びに令和元年度の決算認定についてです。

令和2年度一般会計の補正予算案
新型コロナウイルス感染症については、7月以降、新規感染者数が多い状態が続いており、引き続き感染症対策に万全を期すとともに、深刻な影響を受けた地域経済の活性化も図っていく必要があります。このため、今回の9月補正予算案では、「感染症の長期化に備えた医療提供体制の整備」、「県民のみならずとも推進する「ちばと一緒に！」キャンペーン」、「厳しい経営状況にある中小企業等へのさらなる支援」などの取り組みを進める他、6月補正予算編成後の状況変化を踏まえ、緊急的に取り組むべき事業に必要な経費を計上致しました。

また、健全な財政運営に資するため、令和元年度の決算剰余金の2分の1を財政調整基金に積み立てます。この結果、補正予算額は533億8,321万余円、現計予算と合わせた補正後の予算規模は、2兆1,009億7,151万余円となります。

新型コロナウイルス感染症対策
感染症の長期化に備え、入院患者受け入れのための空床・休床確保、軽症者等のための宿泊施設確保等については、7月に作成した患者推計および病床確保計画に基づき、あらためて積算した上で、年度末までの所要額を計上致しました。そのうち、空床・休床確保事業において、集中治療



室等を除く休床分については、国基準補助単価が低く、医療機関の負担が大きいとのご意見もございました。医療機関については、長期にわたり極めて厳しい環境下におかれていることも踏まえ、今回、集中治療室等を除く休床分について、県独自に補助単価を1日1床当たり1万円引き上げることと致しました。その他、収入が減少した世帯の方への生活福祉資金の貸し付けについては、これまでの動向を踏まえて、貸し付け原資をさらに積み立てるとともに、乗り合いバス、地域鉄道、タクシーなどの地域の公共交通事業者が行う車両消毒などの感染予防対策に対し、新たに支援金を給付致します。

その他、「経済の活性化」など主な事業の他、条例の制定および一部改正などの概要説明がありました。さらに、房総半島台風等からの復旧・復興について、報告等がありました。知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧になれます。 千葉県議会 知事あいさつ 検索